

**「姫路市子ども読書活動推進計画（第4次）」（案）に関する  
市民意見（パブリック・コメント）の募集結果について**

1 市民意見（パブリック・コメント）の概要

- (1) 意見募集期間：令和2年(2020年)12月21日（月曜日）から令和3(2021年)年1月20日（水曜日）
- (2) 意見提出状況：5通（10件）
- (3) 意見の内容

項 目	件 数
図書館の調べ学習の資料の充実について	1件
図書館における児童サービスについて	2件
中高生の読書への関心を高める取組について	1件
図書館における子供に関わる大人への支援について	1件
図書館から学校への団体貸出の実施について	1件
図書館と民間子供文庫との連携について	1件
市の作成する郷土資料の提供について	1件
図書館の組織と運営について	2件
合 計	10件

## 2 意見の概要と市の考え方

① 図書館の調べ学習の資料の充実について			
番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
1	21	学校では調べ学習のニーズが高まっているが、学校図書館だけでは十分な資料提供が難しい。 今後も図書館の調べ学習の資料の充実を図ってほしい。	図書館では、昨年度より、今年度小学校で採用される教科書について調査を進め、調べ学習に必要な資料の整備を計画してまいりました。 今後も学校での調べ学習に必要な資料の収集に努めてまいります。

② 図書館における児童サービスについて			
番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
2	22	イベントの提案 ・子供たちに、1年間で図書館から借りて読んだ本リストを渡す。(3月の最終週限定)	図書館のシステムでは、プライバシーへの配慮から、貸出履歴が残らないようになっていますので、借りた本のリストをお渡しすることはできません。借りた本を自分で記録できるように促す工夫など、今後のサービスの参考とさせていただきます。
3	22	以前開催された、子供たちのPOPを募集するコンテストを是非再開してほしい。 ビブリオバトルではハードルが高く、読書感想文では身構えてしまうようで、また建前で書いている部分があるのではと思う。 POPは子供にも取り組みやすく、感動を純粋に表現できる良い取り組みだと感じる。 また、作品を図書館のPOPとして利用すると読書への興味が一層深まると思うの	図書館では、平成28年度と29年度に行われた姫路市教育委員会後援の「ひめじ子ども読書週間協働事業：本の魅力を伝えるPOPコンクール」において、審査協力や応募作品の各館での展示を行いました。POPは子供にとって取り組みやすくアピールしやすい表現方法であると考えています。 <u>3 (市民意見提出手続の実施結果に基づく修正) の通り修正します。</u>

		で、検討してほしい。	
--	--	------------	--

③ 中高生の読書への関心を高める取組について			
番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
4	23	<p>イベントの提案</p> <p>・本とつなげるワークショップ（中学生・高校生向け）</p> <p>ブックトークの逆さで、例えば「お城」という課題を出して、図書館の本の中から、参加する子供たちが、自分の感性で本を探して、プレゼンをする。</p>	<p>第4次計画においては、中学生・高校生が読書への興味や来館のきっかけにつながるような行事を企画する予定です。今後の参考とさせていただきます。</p>

④ 図書館における子供に関わる大人への支援について			
番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
5	23 から 24	<p>イベントの提案</p> <p>・男性限定の読み聞かせ講座</p> <p>最近の若いお父さん方は、あまりためらわずに、おはなし会やわらべうたの会に参加される。そこで、女性に遠慮せず、いろいろな質問や疑問を率直に話せる、父親向けの読み聞かせ講座を開いて、お父さん方に、子供たちと本の世界を楽しむ機会をもっと作ってもらおう。</p>	<p>図書館では、保護者やボランティア対象の絵本講座や市政出前講座で絵本や子供の本についての啓発活動を行っています。ご提案の講座については、今後の参考とさせていただきます。</p>

⑤ 図書館から学校への団体貸出の実施について			
番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
6	27	<p>学校では調べ学習のニーズが高まっているが、学校図書館だけでは十分な資料提供が難しい。</p>	<p>図書館では、学校から貸出依頼のある資料のリストを提供することで、学校図書館の資料の充実に資するとともに、学校図書館で不足する資料</p>

		今後も図書館から学校への団体貸出による資料の提供を続けてほしい。	の団体貸出による提供を続けてまいります。
--	--	----------------------------------	----------------------

⑥ 図書館と民間子供文庫との連携について			
番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
7	26 から 28	子供文庫のメンバーは、日頃から、図書館、特に児童奉仕の内容に深く感謝している。私たちの文庫活動は、図書館の援助なくしては成り立たない。	民間子供文庫には城内図書館で団体貸出や、リサイクル本の提供を実施しています。子供文庫での読書活動に資するよう、引き続き連携してまいります。

⑦ 市の作成する郷土資料の提供について			
番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
8	28	小学校では郷土について調べ学習をする機会が増えてきているが、子供たちが郷土について学べる資料が少ない。 「伝統工芸」「伝統文化」「産業」「生態系」などを担当する市役所の各部署において、子供たちも利用しやすいパンフレット、ポスター、WEB資料などを作成し、図書館や学校に提供してほしい。	市役所の各部署のパンフレット等の作成や収集について情報交換し、ペーパーレスや電子化もふまえながら、郷土資料が充実するよう努めてまいります。

⑧ 図書館の組織と運営について			
番号	該当ページ	意見要旨	市の考え方
9	—	次代を担う子供と本をつなぐ図書館活動の原動力となるのは人材つまり司書である。しかし、図書館司書職の	市立図書館の司書は経験を積んだベテランの職員が多く、様々なサービスに携わっていますが、将来的にサービスの維持が難しくなると考えら

		採用は、この20年ほど一人も行われていない。司書の仕事も先輩から後輩へと知識や経験が受け継がれて行くものである。姫路の子供たちの読書力の向上、ひいては、姫路の底力の蓄積のため、是非、司書職採用の再開・継続をお願いしたい。	れます。図書館司書の体制について、今後検討していく必要があると考えています。 <u>3（市民意見提出手続の実施結果に基づく修正）の通り修正します。</u>
10	—	<p>長い間利用している分館が、指定管理になってから、以前と異なってきていると感じる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土日の子供の来館者が減った。</li> <li>・おはなし会など、イベントに参加する子供の数が激減している。</li> </ul> <p>図書館の仕事は効率や利益とは相反するもので、企業への委託には無理がある。特に児童奉仕の分野では、専門の知識を持った市の司書職の配置が不可欠である。</p> <p>指定管理が導入されている分館での実情を調べ、是非、市直営に戻すことを要望する。</p>	姫路市の図書館では、現在、網干・飾磨・広畑・安富分館で指定管理者制度を導入しており、今後も継続を予定しています。指定管理者とは定期的に会議を開催して意思疎通を図り、図書館についての考え方を共有するよう努めております。ご指摘のような問題については、現状を調査したうえで、指定管理スタッフへの研修など、能力の向上に向けた取り組みに努めてまいります。

### 3 市民意見提出手続の実施結果に基づく修正

① 第3次計画の取組状況及び第4次計画の図書館における児童サービスについて			
番号	該当ページ	修正前	修正後
1	8	第3次計画では、新たに「ひめじ子ども読書週間」(10月27日から11月9日)を設定し、関係施設が啓発行事を行いました。	第3次計画では、新たに「ひめじ子ども読書週間」(10月27日から11月9日)を設定し、関係施設が啓発行事を行いました。 <u>図書館では、平成28年度・29年度に行われた姫路市教育委員会後援の「ひめじ子ども読書週間協働事業：本の魅力を伝えるPOPコンクール」において、審査協力や応募作品の展示を行いました。</u>
2	22	図書館では、子供が本と親しむための行事として、「おはなし会」「えほんのじかん」「わらべうたであそぼうの会」「一日図書館員」「ビブリオバトル」などを実施しています。参加者が場合によって少ないことが課題となっています。	図書館では、子供が本と親しむための行事として、「おはなし会」「えほんのじかん」「わらべうたであそぼうの会」「一日図書館員」「ビブリオバトル」などを実施しています。参加者が場合によって少ないことが課題となっています。 <u>POPの募集など、参加しやすい行事を検討します。</u>

② 図書館における環境整備について			
3	21	図書館司書は、(中略)子供と本を結びつける重要な役割を担っていますが、第3次計画期間は司書の研修の機会が当初の数値目標に達していません。質の高い読書推進を実施していくためにも十分な研修の機会を確保することが必要です。	図書館司書は、(中略)子供と本を結びつける重要な役割を担っていますが、第3次計画期間は司書の研修の機会が当初の数値目標に達していません。 <u>図書館司書への十分な研修機会の確保、体制の検討など、質の高い読書推進に向けた取組が必要です。</u>